

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	47 沖縄平和啓発(継承)プロモーション事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所(第4章)	4-(1)-イ-①				
担当部課名	知事公室 平和・地域外交推進課	事業実施(予定)年度	H31～R13 年度		平和学習の推進及び次世代への継承		
					Ⅲ-7		
事業内容	悲惨な沖縄戦の実相や歴史的教訓を正しく次世代に継承するとともに、平和を希求する「沖縄のこころ」を国内外へ発信するため、ワークショップや県外シンポジウム、米軍統治時代の20名の証言編集・WEB公開、他言語版貸出用Blue-rayの作成、沖縄、広島、長崎、韓国、台湾、ベトナム、カンボジアの、アジア7箇所の国・地域の若者の共同学習・シンポジウム・事前事後研修を開催する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和6年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	81,098	-	63,995	-	62,621
		(b) 予算現額	81,098	-	63,995	-	62,621
		(c) 増減額(b-a)	0	-	0	-	0
		(d) 前年度繰越額	0	-	0	-	0
		A. 計(b+d)	81,098	-	63,995	-	62,621
	B. 執行済額		67,621	-	55,903	-	57,921
	うち交付金充当額		54,097	-	44,722	-	46,336
	C. 次年度繰越額		0	-	0	-	0
	執行率(%) (B/A)		83.4%	-	87.4%	-	92.5%
予算の状況の説明		■執行率は92.5%であり、主に委託費の執行残(入札執行残)が発生したことによる。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R5活動目標(指標)		進捗状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	①ワークショップを県内6回、県外3回開催	目標	9回(県内6回、県外3回)	9回(県内6回、県外3回)	9回(県内6回、県外3回)	9回(県内6回、県外3回)	
		実績	9回(県内7回、県外1回)	9回(県内7回、県外2回)	10回(県内5回、県外5回)	13回(県内9回、県外4回)	
	②シンポジウムの開催(県外1回)	目標	首都圏1回	首都圏1回	首都圏1回	首都圏1回	
		実績	首都圏1回	首都圏1回	首都圏1回	首都圏1回	
	③年度内に20名の証言を多言語編集およびWEB公開し、効果を検証	目標				20名分	
		実績				20名分	
	④沖縄、広島、長崎、韓国、台湾、ベトナム、カンボジアの若者たちの共同学習・シンポジウム・事前事後研修を開催	目標	7カ国地域、7日間	7カ国地域、7日間	7カ国地域、7日間	7カ国地域、7日間	
		実績	7カ国地域、7日間	7カ国地域、7日間	7カ国地域、7日間	7カ国地域、7日間	
進捗状況説明	①ワークショップについては、県内外のニーズの高まりによる事業計画の見直しにより、県内9回、県外3回達成し、目標を達成した。 ②シンポジウムについては、予定通り首都圏(神奈川県)で開催し、参加者に平和について考えて貰う機会を提供し、目標を達成した。 ③証言の多言語編集及びWEB公開につきまして、収録した20名分を多言語編集及びWEB公開をできた。 ④共同学習において、参加者累計が158名となり各国・各地域の多くの若者が共に平和について学習することができ、目標を達成した。						

R5成果目標(指標)		基準値	R3年度	R4年度	R5年度	目標値
		(〇〇年度)				(〇〇年度)
①ワークショップでのアンケートで「平和への理解がより深まった」が70%以上	目標	-	70%	70%	70%	-
	実績	-	98%	98%	98%	-
②シンポジウムアンケートで「平和への理解がより深まった」70%以上	目標	-	70%	70%	70%	-
	実績	-	97%	87%	91%	-
③-1WEB公開と教材活用(Blu-ray貸出)開始	目標	-	-	20名分公開 Blu-ray貸出開始	20名分公開 DVD-R貸出開始	-
	実績	-	-	20名分公開 Blu-ray貸出開始	20名分公開 DVD-R貸出開始	-
【R6成果目標】 ③-2WEB公開された証言映像(多言語字幕付き)の再生回数	目標	-	-	-	-	延べ 1,000回
	実績	-	-	-	-	
④-1共同学習参加者累計	目標	-	-	-	146名	-
	実績	-	-	-	158名	-
④-2共同学習参加者アンケートで「平和構築に関する意識が高まった」70%以上	目標	-	70%	70%	70%	-
	実績	-	97%	94%	91%	-
達成状況説明	①ワークショップにおいて、「平和への理解が深まった(目標70%以上)」をアンケートで検証し、理解が深まったと回答した者が98%となり、目標を達成した。 ②シンポジウムにおいて、「平和への理解が深まった(目標70%以上)」をアンケートで検証し、理解が深まったと回答した者が87%となり、目標を達成した。 ③-1 戦後の証言映像20名分(多言語版)をWebサイトで公開し、DVD-Rを作製して貸出できるようにした。 ③-2 多言語に翻訳された字幕付き証言映像をWEB公開した。 ④共同学習において、参加者累計が158名となり各国・各地域の多くの若者が共に平和について学習することができ、目標を達成した。					

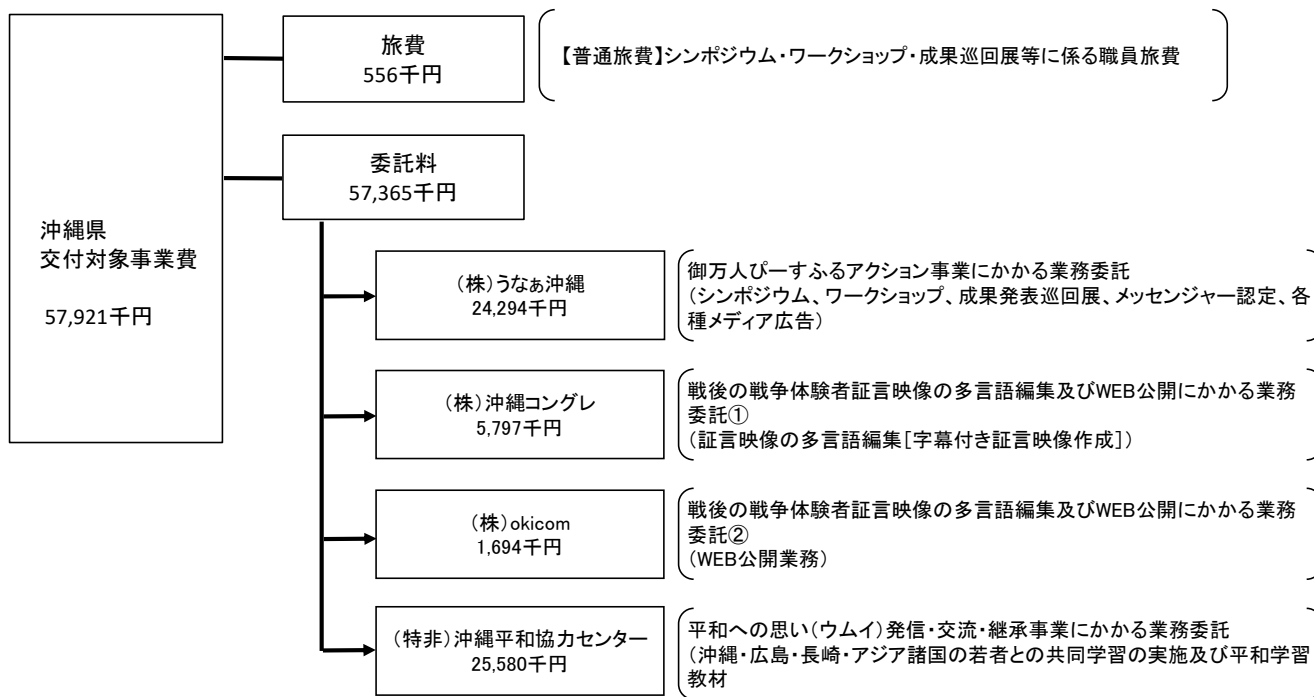
R5-No.47

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①世界の様々な地域に紛争の火種が見え隠れする現状において、県内のみならず、国内や海外でも平和への意識が高まったものと推測される。 ②戦争体験だけでなく沖縄戦に続く苦難や戦後の混乱、復興に向かう人々の足跡と記憶の継承も証言者の高齢化等により困難になりつつあり、証言映像の記録は喫緊の課題である。 ③ワークショップ希望校、シンポジウムの集客及びワークショップやシンポジウムにおいて沖縄戦の実相や歴史的教訓を次世代へ伝える活動を担う「びーすふるメッセンジャー」の応募者の継続的な確保が課題である。 ④R1年度から実施している本事業に参加した若者同士が関わり合える、ネットワークを強化する必要がある。	①沖縄戦から現代に至るまでの繋がりや、現在の生活および今の沖縄が過去の歴史的教訓の上にあることへの理解を深め、平和を希求する「沖縄のこころ」を継承していくための工夫を今後も継続して取り組む必要がある。 ②共同学習を通して、アジア諸国と沖縄・広島・長崎の若者が共に学び、理解し合うことで多面的に繋がり、交流を深め、協力関係を築くことができた。今後も継続して沖縄と国内及びアジア諸国の若者との協力関係を築くことで、日本とアジア諸国の架け橋になることも必要となる。 ③共同学習で得られた成果を県民に還元し、多様な視点から平和について考える機会を提供する必要がある。
今後の取り組み方針		
①児童生徒を対象としたワークショップの実施やびーすふるメッセンジャーとの連携、証言映像の収録により平和学習の機会の提供と平和学習ツールの整備、歴史的教訓の継承に引き続き取り組む。 ②戦争体験者を始め戦後沖縄の諸相を知る証言者も高齢化し、当時の記憶の継承が課題となっているため、戦争体験者を始め戦後沖縄の諸相を知る方々の証言を収録・編集し、WEB公開を行うとともに、今後は、学校現場からの要望が多い、児童生徒の発達段階に応じた沖縄戦学習用の教材(映像)の開発及び教材のWEB公開についても取り組む。 ③アジアの若者による共同学習で得られた成果を県民に還元できるよう、過去に本事業へ参加した若者がオンライン参加できる機会を設定し若者による平和構築のネットワーク強化を図る。 ④R6は沖縄戦の語り継ぎ手養成事業を実施する。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
57,921	57,921	46,336	11,585	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、一般競争入札又は公募型プロポーザル方式により体制、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途については、事業報告書等を検査し、適正である事を確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	